

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	神栖市障害者デイサービスセンターのぞみ			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 31日		～	令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 31日		～	令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心・安全に入浴できる設備が整っている。	使用前後の塩素測定。年2回以上の水質検査。 毎回の清掃で清潔保持している。	職員の介助技術向上のための研修をおこない、スムーズに安全に入浴していただけるよう取り組んでいる。
2	利用者の個別に合わせた食事提供	季節に合わせた献立を作成。ミキサー食や刻み食など個別支援をおこなっている。	色彩や香りでも食欲が出る様に取り組んでいる。
3	十分なスペース。	一人ひとりのスペースを広く使用できる。	広いスペースを活かし、マット上でストレッチやイベントを充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一日の平均利用として、放課後デイ(5名)の目標値に届かなかった。	市民や利用者様への効果的な広報活動をおこなう。	利用者様獲得、利用日、数値を目指し、制度等の情報提供を積極的におこなっていく。
2	市・その他関係機関との連携を強化する。	市・その他関係機関と密に連携する。	市をはじめ、計画相談事業所、特別支援学校、医療機関、関連事業所等の連携を強化していく。
3	利用者様の要望を把握し、運営に反映させ満足度を高める	積極的に研修等に参加し、サービスの向上を図る。	茨城県主催・地域主催・権利擁護・虐待研修・業務継続計画(感染・災害等)WEB研修への参加を強化していく。